

見つけてみよういろいろなカタチ 水戸芸術館に行こう

市制施行100周年記念事業として建設され、今年23年目を迎える水戸芸術館。水戸から世界に芸術文化を発信する場所として、音楽、演劇、美術の各分野で自主企画を行うほか、地域の文化活動の拠点としてもその活動の輪を広げています。

芸術館には、その他にも隠れた見どころがいっぱい。芸術館の「身近な魅力」を紹介します。
問合せ 地域振興課 ☎232-9105

み~つけた!

柱が丸、ステージの壁の模様が三角と四角になっています。



コンサートホールATM

ステージと客席が空間を共有し、音楽を心ゆくまで楽しめるよう、ゆとりのあるつくりになっています。3本の大きな柱が印象的。白を基調とした、明るい雰囲気があります。六角形のステージの後ろ側にある席からは、指揮者の表情や楽器を演奏する様子を間近に見ることができます。専属楽団として「水戸室内管弦楽団」「新ダヴィッド同盟」が活動しており、定期演奏会や子供向けの鑑賞教室などを開催しています。



現代美術ギャラリー

9つの部屋からなる現代美術ギャラリーでは、さまざまな美術家が空間を自由に使い、壁や天井、自然光をいかした個性的な展示を行っています。5月6日(日)まで開催中の「ゲルダ・シュタイナー&ヨルク・レンツリンガー ー力が生まれるところ」は、訪れるたびに変わる、体験型の展示会です。

み~つけた!

塔から眺めると、建物の形がよく分かります。

いろいろなカタチ

芸術館のさまざまなデザインに使われている、丸・三角・四角のモチーフ。いくつ見つけられますか。

エントランスホール



2階部分に設置されているパイプオルガンは、3,283本のパイプをもつ国内最大級のもの。すべて日本人の手で作られています。3月に震災被害の修復が終わり、新たな音色が追加されるなどバージョンアップ。4月1日に行われたパイプオルガン復活記念コンサートでは、大勢の皆さんが美しい音色を楽しみました。

み~つけた!

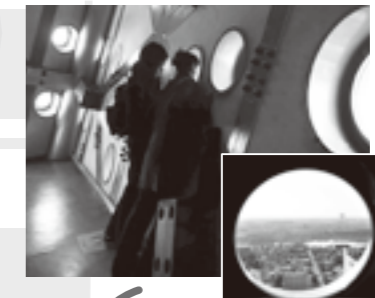
エントランスホールの柱と照明に、丸・三角・四角が使われています。



憩いの場となっている広場。四季の広場やアートタワーマーケットなど、さまざまなイベントも開催されます。



市制施行100周年にちなみ、100mの高さがあります。約86mに位置する展望室では、壁のさまざまな場所にある丸窓から市内が一望できます。条件がそろえば、富士山が見えることも。



塔

もっと! 芸術館を楽しむ

◆館内見学ツアー

ATMフェイスが、芸術館の施設ごとの特徴などについて、詳しく丁寧に説明ながら案内します。

時間 / 11:00、14:00

料金 / 大人500円、小人(小・中学生) 400円

◆塔

展望室まで、塔の内部構造をながめられるガラス張りのエレベータで昇ります。

料金 / 大人200円、小人(小・中学生)100円

※5/5(土)は、小・中学生無料です。

◆パイプオルガン・フロムナード・コンサート

週末の午後、パイプオルガンの音色を楽しむことができるコンサート。入場無料です。

5月の日程

3日(木)再開記念スペシャル…午後1時30分から
12日(土)、13日(日)、26日(土)…各日とも、正午、午後1時30分から

いずれも、公演などにより、変更や中止となる場合があります。詳細は、水戸芸術館 ☎227-8111へお問合せください。

み~つけた!

エントランスホールの2階にも、同じ黒い格子があります。館全体で統一感を演出しています。

ACM劇場



黒を基調とした12角形の劇場。舞台は、10個のブロックに分かれ、上演する作品の内容に合わせて形を変えることができます。客席と舞台が近く、俳優の細かい表情までわかるなど、臨場感を味わえることも特徴です。専属の「劇団ACM」は、劇場での舞台出演のほか、小学生のための演劇鑑賞会や幼稚園への訪問公演、図書館での朗読会などの活動も積極的にを行っています。